

# 周南市水道事業の財政状況

2021年度(令和3年度)



## 目次

1. 水道事業会計の決算状況	-----	1
2. 経営指標	-----	3
3. 水道事業債の残高状況	-----	5
4. 一般会計繰入金の状況	-----	5
5. 繰出基準について	-----	6

周南市上下水道局 財政課

# 令和3年度 水道事業の財政状況

## 1 水道事業会計の決算状況

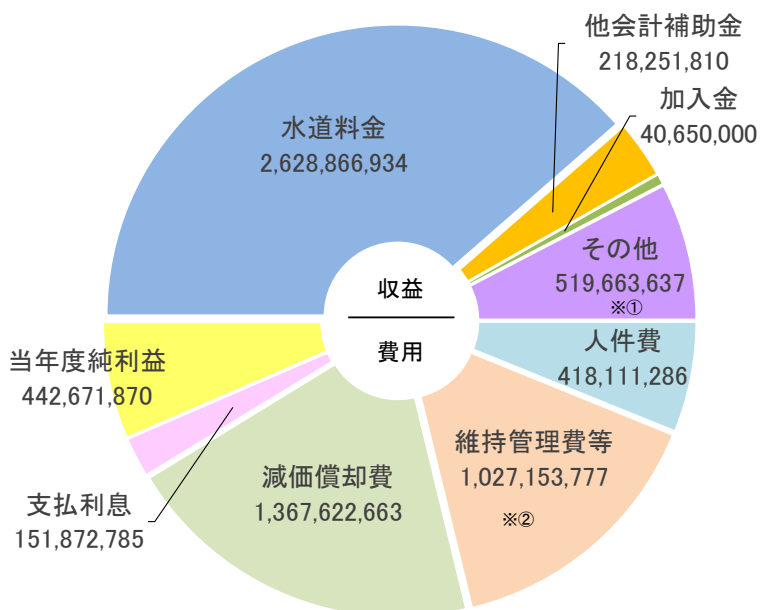
収益的収支については、収入の総額が34億7百万円、支出の総額が29億6千5百万円で、当年度純利益が4億4千3百万円となりました。

資本的収支については、収入の総額が7億8千3百万円、支出の総額が21億2千万円で、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は13億3千7百万円となり、その不足額は、過年度損益勘定留保資金等で補っています。

### 《収益的収支》 事業の経営活動に要するもの

(単位:円 税抜)

科目	令和3年度
水道事業収益	3,407,432,381
水道料金	2,628,866,934
他会計補助金	218,251,810
加入金	40,650,000
雑収益	16,197,886
その他	503,465,751
水道事業費用	2,964,760,511
人件費	418,111,286
動力費	110,738,128
修繕費・材料費	55,950,864
薬品費	27,689,685
支払利息	151,872,785
減価償却費	1,367,622,663
受水費	55,242,866
その他	777,532,234
当年度純利益	442,671,870



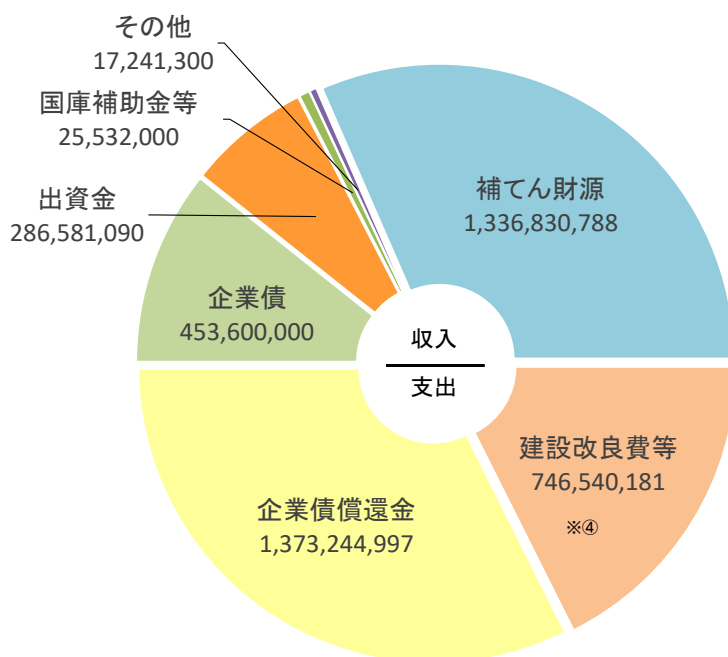
※① その他…雑収益、その他収益

※② 維持管理費等…動力費、修繕費・材料費、薬品費、受水費、その他費用

### 《資本的収支》 施設の整備に要するもの

(単位:円 税込)

科目	令和3年度
水道事業資本的収入	782,954,390
企業債	453,600,000
出資金	286,581,090
国庫補助金等	25,532,000
負担金	14,464,348
その他	2,776,952
損益勘定留保資金等補てん財源 ※③	1,336,830,788
水道事業資本的支出	2,119,785,178
浄水設備改良費	274,771,931
送配水設備改良費	432,685,718
営業設備	3,215,054
企業債償還金	1,373,244,997
その他	35,867,478



※③ 資本的収入が資本的支出に不足する額を補てんするもの。

※④ 建設改良費等…浄水設備改良費、送配水設備改良費、営業設備、その他支出

《損益計算書》（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位：円）

1. 営業収益			
(1) 給水収益	2,628,866,934		
(2) その他営業収益	118,531,673	2,747,398,607	
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	735,773,311		
(2) 配水及び給水費	187,195,765		
(3) 業務費	214,169,494		
(4) 総係費	220,009,606		
(5) 減価償却費	1,367,622,663		
(6) 資産減耗費	14,401,697	2,739,172,536	

営業利益 8,226,071

3. 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	845,202		
(2) 他会計補助金	218,251,810		
(3) 長期前受金戻入	307,058,669		
(4) 加入金	40,650,000		
(5) 飲料水供給施設収益	24,345,242		
(6) 協議会収益	49,076,688		
(7) 雑収益	16,197,886	656,425,497	

4. 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	151,872,785		
(2) 飲料水供給施設費用	21,696,695		
(3) 協議会費用	45,406,949		
(4) 雑支出	302,621	219,279,050	437,146,447

経常利益 445,372,518

5. 特別利益			
(1) その他特別利益	3,608,277	3,608,277	
6. 特別損失			
(1) 災害による損失	2,262,938		
(2) 過年度損益修正損	869,700		
(3) その他特別損失	3,176,287	6,308,925	△ 2,700,648

当年度純利益 442,671,870  
 前年度繰越利益剰余金 436,626,154  
 その他未処分利益剰余金変動額 250,912,666  
 当年度未処分利益剰余金 1,130,210,690

《貸借対照表》（令和4年3月31日現在）

（単位：円）

科目	決算額	科目	決算額
<b>資産</b>	34,264,565,492	<b>負債</b>	18,625,247,492
固定資産	30,326,251,209	固定負債	11,349,788,699
有形固定資産	28,918,289,122	企業債	10,766,965,273
土地	1,496,263,433	退職給付引当金	368,851,624
立木	51,600	修繕引当金	213,971,802
建物	997,285,248	流動負債	1,843,475,193
構築物	23,856,854,904	企業債（1年以内に償還予定）	1,385,227,698
機械及び装置	2,270,964,576	未払金	421,789,880
量水器	100,511,626	賞与引当金	34,497,615
車両運搬具	1,000,731	その他流動負債	1,960,000
工具器具及び備品	22,898,343	繰延収益	5,431,983,600
その他有形固定資産	486,500	長期前受金	12,416,703,449
建設仮勘定	171,972,161	収益化累計額	△ 6,984,719,849
無形固定資産	1,407,962,087	<b>資本</b>	15,639,318,000
施設利用権	440,054,998	資本金	13,403,529,046
ダム使用权	966,784,248	固有資本金	665,599,152
ソフトウェア	1,122,841	出資金	4,960,453,988
流動資産	3,938,314,283	組入資本金	7,777,475,906
現金預金	3,325,450,561	剰余金	2,235,788,954
未収金	500,367,275	資本剰余金	213,631,654
貸倒引当金	△ 7,764,586	受贈財産評価額	188,506,065
貯蔵品	20,261,033	その他資本剰余金	25,125,589
有価証券	100,000,000	利益剰余金	2,022,157,300
		減債積立金	477,490,157
		利益積立金	17,760,334
		建設改良積立金	396,696,119
		当年度未処分利益剰余金	1,130,210,690
資産合計	34,264,565,492	負債・資本合計	34,264,565,492

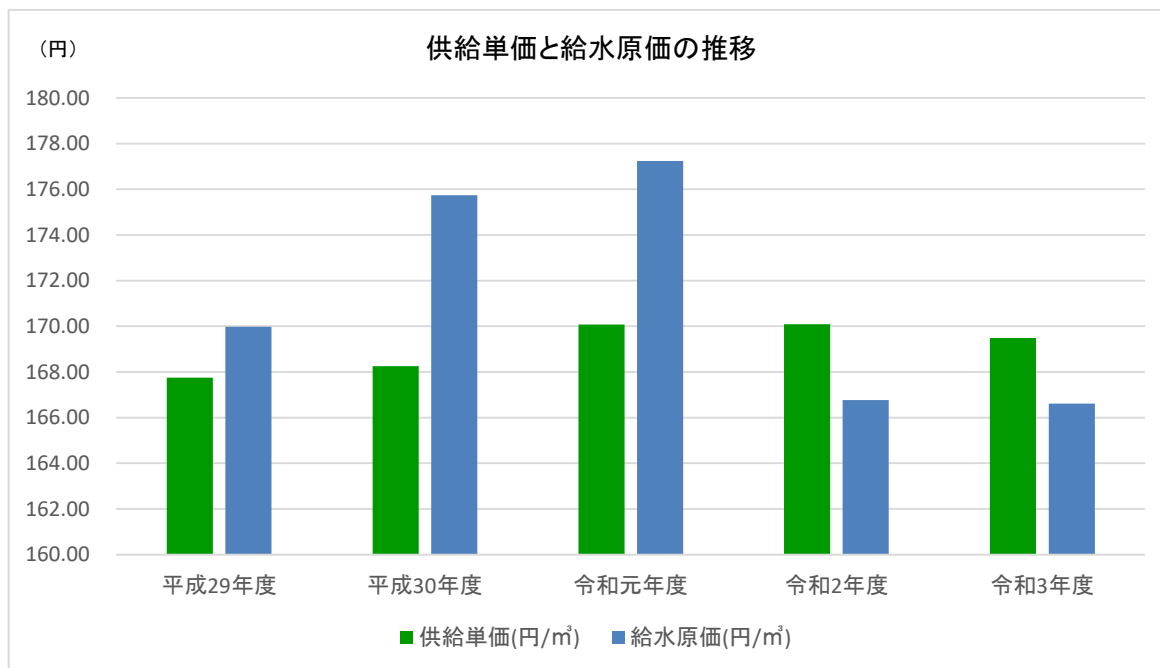
## 2 経営指標

水道事業は地方公営企業であるため、料金収入での独立採算を原則としています。

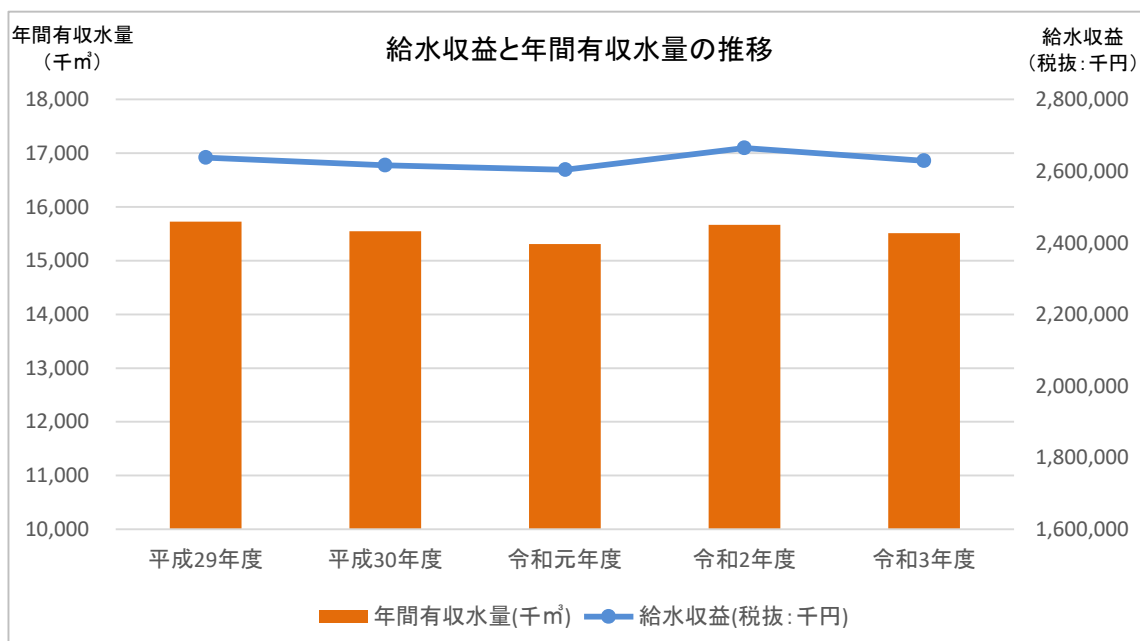
令和3年度の決算では、維持管理費等の削減等により、令和2年度に引き続き給水原価が供給単価を下回りました。

収入の大部分を占める給水収益は、人口の減少、節水型給水機器の普及や節水意識の向上により、今後の増加は見込めない状況です。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
供給単価(円/㎡)	167.75	168.25	170.07	170.09	169.48
給水原価(円/㎡)	169.97	175.74	177.24	166.76	166.61



	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年間有収水量(千㎡)	15,726	15,551	15,311	15,667	15,511
給水収益(税抜:千円)	2,638,076	2,616,493	2,603,929	2,664,709	2,628,867



事業の経営状況を、貸借対照表、損益計算書等の財務諸表に基づき分析すると次のようになります。

項目	単位	算式	令和3年度	令和2年度
供給単価	円/m <sup>3</sup>	$\frac{\text{年間給水収益}}{\text{年間有収水量}}$	$\frac{2,628,867 \text{ (千円)}}{15,511,167}$	169.48 / 170.09
給水原価	円/m <sup>3</sup>	$\frac{\text{総費用 - (受託工事費 + 材料売却原価 + 飲料水供給施設費用 + 協議会費用 + 不用品売却原価 + 特別損失 + 長期前受金戻入)}}{\text{年間有収水量}}$	$\frac{2,584,289 \text{ (千円)}}{15,511,167}$	166.61 / 166.76
料金回収率	%	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	$\frac{169.48 \text{ (円)}}{166.61 \text{ (円)}} \times 100$	101.7 / 102.0
総収支比率	%	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	$\frac{3,407,432 \text{ (千円)}}{2,964,761 \text{ (千円)}} \times 100$	114.9 / 115.9
経常収支比率	%	$\frac{\text{営業収益 + 営業外収益}}{\text{営業費用 + 営業外費用}} \times 100$	$\frac{3,403,824 \text{ (千円)}}{2,958,452 \text{ (千円)}} \times 100$	115.1 / 116.3
流動比率	%	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{3,938,314 \text{ (千円)}}{1,843,475 \text{ (千円)}} \times 100$	213.6 / 191.4
自己資本構成比率	%	$\frac{\text{自己資本}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	$\frac{21,071,302 \text{ (千円)}}{34,264,565 \text{ (千円)}} \times 100$	61.5 / 59.2

- ◆供給単価 … 有収水量1m<sup>3</sup>当たりの料金収入
- ◆有収水量 … 料金徴収の対象となった水量
- ◆給水原価 … 有収水量1m<sup>3</sup>当たりどれだけの費用がかかっているかを表す指標
- ◆料金回収率 … 給水に係る費用が、給水収益によってどの程度賄われているかを表し、料金水準等を評価する指標
- ◆総収支比率 … 総費用が、総収益によってどの程度賄われているかを示す指標  
比率が高いほど収益性が良いとされる。
- ◆経常収支比率 … 経常費用が、経常収益によってどの程度賄われているかを示す指標  
比率が高いほど収益性が良いとされる。
- ◆流動比率 … 短期債務に対応すべき現金預金等の流動資産が十分であることをみる指標  
比率が大きいほど支払能力があることを示す。
- ◆自己資本構成比率… 負債・資本合計に対する自己資本(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)の割合を示すもので、事業の長期安定性をみる指標  
比率が高いほど経営の安定性は大きい。

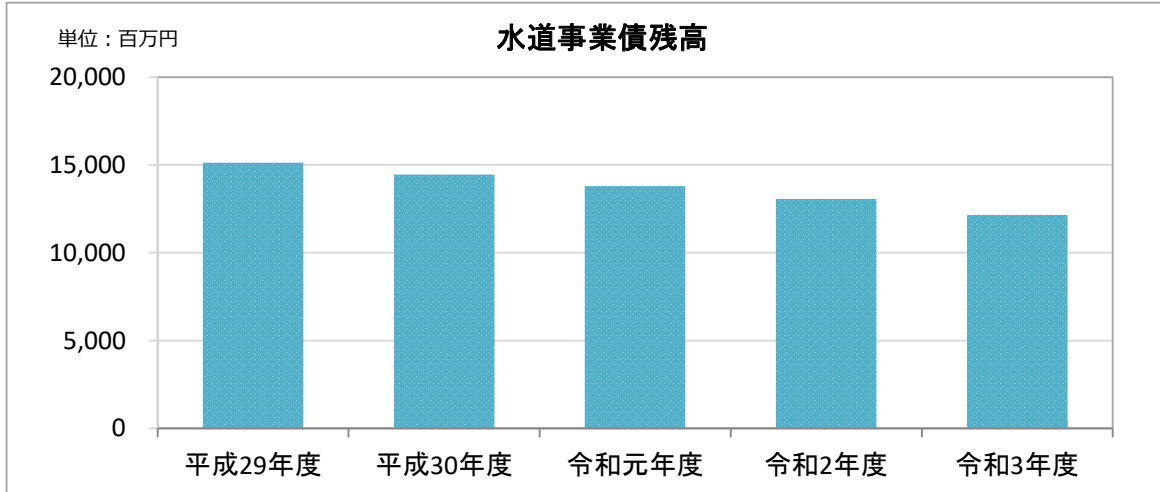
### 3 水道事業債の残高状況

水道施設の建設には、財源の多くに水道事業債が充てられています。これは、財源を確保するという意味だけでなく、その施設を利用するであろう将来の世代にも費用を負担してもらうという意味も含まれています。

令和3年度は、4億5千4百万円の水道事業債を借り入れており、年度末の残高は、121億5千2百万円となっています。

(単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
企業債残高	15,125,707	14,446,498	13,799,048	13,071,838	12,152,193



(注) ・平成29年度は、鹿野地区水道事業の周南市水道事業への統合により、簡易水道事業特別会計から7億7千9百万円の負債を引き継いでいます。

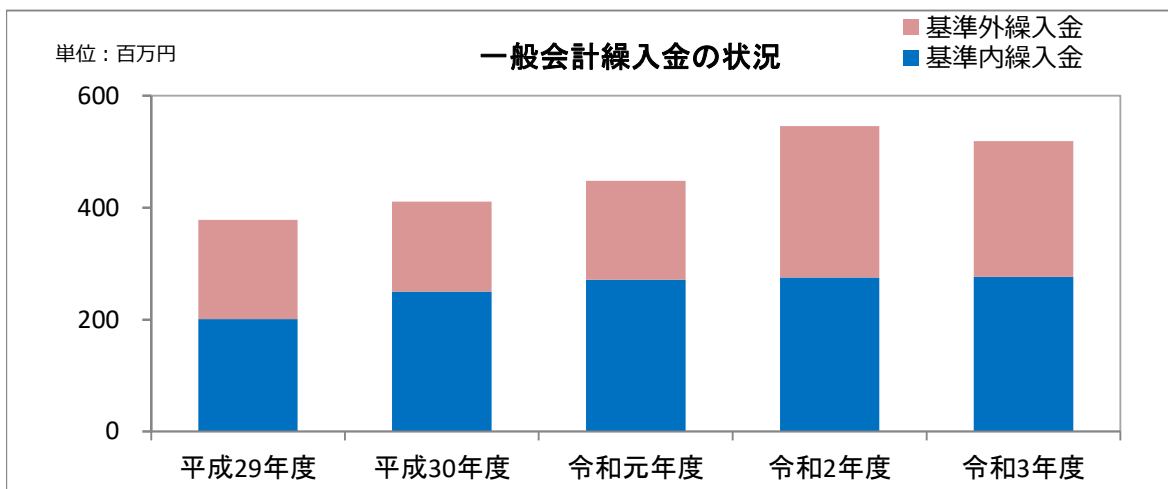
### 4 一般会計繰入金の状況

水道事業では、一般会計から負担金、補助金、出資金を繰り入れており、これを総称して「一般会計繰入金」といっています。

一般会計繰入金は、消火栓設置費など一般会計で負担すべきとされる「基準内繰入金」と、統合前簡易水道の運営費や水道事業債償還元金への出資の一部などの「基準外繰入金」に分けられます。

(単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
基準内繰入金	200,928	250,430	271,511	275,316	276,721
基準外繰入金	177,259	160,472	176,720	270,391	242,474
合計	378,187	410,902	448,231	545,707	519,195



## 5 繰出基準について

水道事業は、地方公営企業法に基づき事業運営に必要な経費は、お客様からお支払いいただく水道料金で賄う「独立採算制」で経営されていますが、消火栓の設置に関する経費や統合前簡易水道の建設改良費について発行された水道事業債の元利償還金の一部などについては、一般会計からの繰入れが認められています。

本市での一般会計からの繰入れの主な項目は、次のとおりです。

項目	繰出基準	趣旨
1 消火栓に要する経費	消火栓の設置及び管理に要する経費、消火栓の設置に伴う水道管の増設、口径の増大等に要する経費等に相当する額	公共消防のための消火栓に要する経費その他水道を公共の消防の用に供するために要する経費について一般会計が負担するもの
2 統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に要する経費	統合水道に係る統合前簡易水道の建設改良費について発行された企業債に係る元利償還金の100分の55	統合水道の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図るため、統合前の簡易水道事業に係る建設改良のために発行された企業債の元利償還金の一部について繰出すもの
3 地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費	地方公営企業職員に係る児童手当の給付に要する経費全額等	地方公営企業職員に係る児童手当法に規定する児童手当の給付に要する経費の一部について繰出すもの
4 上水道の安全対策事業に係る事業費	浄水場、配水池等の基幹水道構造物の耐震化事業に係る事業費の4分の1	浄水場、配水池等の基幹水道構造物の耐震化事業に係る事業費の一部について繰出すもの

---

# 周南市水道事業の財政状況

〔2021年度(令和3年度)版〕

2022年(令和4年)11月 発行

編集・発行 周南市上下水道局

---

〒745-8655  
周南市岐山通1丁目1番地 周南市役所本庁舎3階  
周南市上下水道局 財政課(水道担当)

TEL(0834)22-8605 FAX(0834)22-8636

E-mail:suido-zai@city.shunan.lg.jp